



様式第4号 (第7条関係)

令和元年 11月 18日


東かがわ市議会議長
橋本 守 様

東かがわ市議会議員
(会派・個人・その他)

氏名 久米 潤子



行政視察等報告書

1	日時	10月30日	
2	参加者	久米 潤子	
3	研修目的等	内 容	研修場所
		第3回 食品ロス削減全国大会	徳島グランヴィリオホテル
4	研修・調査内容	「第3回食品ロス削減全国大会」  詳細については <u>別紙1</u> のとおり	
5	研修成果	<u>別紙2</u> のとおり (感想・今後の取り組み等)	
6	費用	2,600円	

※領収書 (交通費・宿泊費の明細がわかるもの)、研修資料を添付してください。

4 研修・調査内容

別紙1

「第3回食品ロス削減全国大会」

令和元年10月1日に「食品ロス削減推進法」が施行された。法施行後、初めて迎えた「食品ロス削減の日」10月30日に、第3回食品ロス削減全国大会が、徳島県徳島市で開催された。

歓迎パフォーマンス

開会15分前から、「阿波おどり振興協会所属の連合連」による阿波おどりが披露された。

開会

本年、全国知事会長を務める飯泉嘉門徳島県知事より、法成立後、初めてとなる第3回全国大会へようこそとの挨拶からスタート。平成29年から温室効果ガス0を目指していること、県として全国で初のエシカル消費の条例を制定したこと、消費者庁が80名きて仕事をしていること、SDGsの12番目の食品ロスに関しては「3010運動」、「フードバンク」、「フードドライブ」を行い、令和新時代を徳島から開いていきたいと、力強く語られた。

先進事例

株式会社キョーエイは、SDGsの①②③をベースにした活動を展開。消費者が資源ゴミを持参すると10%引きとなるチケットを配布。集められた資源ゴミは、2007年11トン、2017年は1,580トンとなり、徳島の資源ゴミの約11.5%を回収している。NPO法人と連携して、福祉団体、個人に食品ロスになる前の食品を提供しているとの報告があった。上板町立高志小学校は多職種連携による食品ロス削減の事例発表を行った。

基調講演

世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)において、共同議長を務めた坂野晶氏が「マルチステークホルダーで取り組む エシカル消費と食品ロス削減」について講演。**別紙2**のクイズが出題され、参加者の正解率は高く、今後問題意識のある方と、そうでない方の差を埋めるため、SDGsの周知啓発に取り組む行政の使命を感じた。

トークセッション

- ・株式会社NTT 法人ビジネス本部 BtoBtoX 推進担当部長 遠藤正道氏
- ・全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会 会長 崎田裕子氏
- ・四国化工機株式会社 商品開発グループ長 北条誠治氏
- ・一般財団法人日本気象協会 防災ソリューション事業部 専任主任技師 本間基寛氏
- ・特定非営利活動法人 フードバンクとくしま 理事長 清田麻利子氏の5名から、ICTを活用した食品ロス削減について、各分野の現状と課題が語られた。

そして、コーディネーターを務めた四国大学短期大学部 加渡いづみ教授より、本日の参加者から、スーパーで食料品を購入するときは、一番手前に並んでいる商品から、購入しましょうとの提案があり、参加者は、約7割が割引の商品を、約3割が手前の商品から購入することを約束し、トークセッションは締めくくられた。

大会宣言

小学生、中学生、高校生の男女6名が、未来に向かって高らかに、持続可能な社会への決意を宣言した。